

桜山 4 丁目町内会通信

令和 2 年 7 月 18 日
桜山 4 丁目町内会
発行責任者 細川 進

<https://sakurayama-4choume.jimdo.com> 239

○桜山 4 丁目町内会の防災の取組み

令和元年度の取組みと決算報告、令和 2 年度の活動予定と予算について報告します。

●令和元年度防災の取組み

1) 総合防災訓練

令和 1 年度の市主催の総合防災訓練は令和元年 10 月 5 日(土)の午前 9:30-12:00 に第一運動公園で実施され 1,500 名が参加しました。昨年度までの「市民参加型訓練(初期消火訓練・土のう作製訓練等)」に代わり、「観覧展示型訓練(逗子消防署や陸上自衛隊等による訓練の観覧)」として実施され、町内会からは、7 名が参加し訓練を観覧しました。今後も自主防災組織としての防災訓練体験の場として位置づけて、会員からの参加者を増やしたいと考えております。

2) 沼間小学校地区避難所運営訓練

沼間小学校地区では年 1 回、避難所運営訓練を実施しています。令和元年度は第 13 回となり、11 月 23 日(土)9:30~12:30 で訓練が行われました。沼間小学校の体育館を中心にした運営訓練で、体育館に本部を置き、停電状態という設定で実施しました。本部及び各班に分かれ、避難者や救護エリアの設置や、仮設トイレ設営、アルファ米の炊き出し、濾水機による水の確保、発電投光訓練などが行われました。参加者は 242 名(運営関係者含め約 300 名)で桜山 4 丁目町内会からは、班活動に 13 名が参加しました。今回は情報広報班を担当しました。避難所における情報収集と広報を目的に、情報整理と広報作成、場内及び外部広報板への掲示、避難所内での情報の放送案内及び活動の撮影記録等の訓練を行いました。また、この訓練は沼間小学校地区内の自治会・町内会から組織された沼間小学校地区避難所運営委員会で企画運営され、毎月第 3 金曜日の委員会に担当者が出席し、防災研修や訓練内容の検討が行われています。

3) 津波避難訓練

今回は津波避難場所として標高 20m 以上を確保するため、避難場所を観藏院側の桜山 5 丁目地域の高台に設定しました。12 月 21 日(土)の餅つき大会に先立って訓練を実施、お年寄りを含め 6 名と世話人 4 名が参加、車イス 1 台を加え中里児童公園から避難を開始、逗子病院前から逗葉高校方向へ向かい約 14 分間で観藏院裏高台へ移動が完了しました。これに併せ、公園内に防災情報掲示や防災倉庫の防災機材の紹介を行い、移動に際して避難誘導者と中里児童公園本部間でトランシーバーによる通話訓練も行いました。津波は少しでも早く高所避難が鉄則です。日頃から避難する場所やルートを確認しておきましょう。

4) 防災資機材の配備

今年度は、防災関係備品として、緊急時の救護に備え救急箱 2 式と消火器 2 台を購入しました。救急箱の内容は、アルミ製ケースに約 20 人分の除菌薬、洗浄綿、医療用救急絆創膏、包帯、三角巾、ガーゼ、電子体温計、救急手当資料等が収納されています。救急箱は向原東公園及び JR 線路北にある防災倉庫に配置、中里公園を含む倉庫 3 か所に同等の救急箱配備が完了しました。また消火器 2 台は JR 線路北倉庫に配備しています。緊急時にご活用いただきたいと思っております。

5) 防災倉庫の活用と備品整備

自主防災組織が管理する 4 丁目の防災倉庫は、中里児童公園に No1、No4 倉庫が、JR 線路北側池子踏切に No2 倉庫、向原東公園に No3 倉庫が配置されています。各倉庫は近在の世話人が倉庫の管理と鍵を保管しています。今年度も防災倉庫の活用と整備を宜しく願います。

●令和2年度防災の取り組み

今年度は新型コロナウイルス感染症対策が最優先となりますので、自主防災組織も「感染しない・感染させない」を基本に従来からの訓練とは異なる3つの密を避ける取り組みとします。防災訓練についても安全が確保できる可能な範囲で参加し、防災意識や対応力を高めて行くことを目指します。

1) **総合防災訓練**（新型コロナウイルス感染症の状況により、市として実施の可否判断があります。）

令和2年度の逗子市主催の総合防災訓練は9月頃に第一運動公園で実施される予定です。実施される場合は町内会の通信等で実施日などをご案内します。

2) **沼間小学校地区避難所運営訓練**

今年度は新型コロナウイルス感染症への対応から、人数を制限し委員会関係者のみで11月頃に沼間中学校での訓練が中心となりますので、今年度は会員の皆様へのご案内はありません。

3) **新型コロナウイルス感染症影響下の避難について**

災害発生時の避難については、感染防止の観点から避難所での収容人数が大きく減少することが想定されます。ご自身やご家族の身の安全確保については早めの避難を心掛けるとともに避難先も避難所だけでなく、安全が確保できる分散避難先として、親戚や知人、友人宅等もご検討ください。また、自宅での待機や避難でもリスクから離れる方向での垂直避難(2階など高所へ)や水平避難(崖から離れた部屋へ)などにより安全確保を心掛けてください。

4) **その他**

防災備品については、従来の整備内容に加えて感染症などへの備えも意識した防災備品の在り方を検討し、避難用備品や感染症対応備品など必要な機材を配備して行きます。また、防災備品購入は町内会予算範囲で整備することといたします。

2「防災特別会計実績報告」

自主防災組織の会計は、町内会会計とは別の特別会計となっています。

1) 令和元年度自主防災組織の会計

(金額:円)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	31,451	災害組織用救急箱2式	23,541
市からの補助金	0	消火器2台	7,216
町内会からの補助	30,000		
合計	61,451		30,757

収入合計 61,451 円－支出合計 30,757 円＝30,694 円は、令和2年度予算に繰り越します。

2) 令和2年度防災特別会計予算

(金額:円)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	30,694	避難用備品 感染症対応備品等	70,000
市からの補助金(※)	0	緊急準備費	20,694
町内会からの補助	60,000		
合計	90,694		90,694

※今年度は市からの補助金はありませんので収入欄に「0」としています。